

## 香川縣市町村職員共済組合

「後悔する人をなくしたい」  
という想いを込めて

香川縣市町村職員共済組合 事務局長 龍満 健司

「令和4年人口動態統計」（厚生労働省）によると、香川県の死亡原因別死亡率は、第1位はがんで人口10万人当たり326.8人、次いで第2位が心疾患の239.7人、第4位が脳血管疾患の93.4人となっており、いずれも全国平均を上回っています。これら三大生活習慣病での死亡者は、死亡総数の44.8%を占めています。特に糖尿病については、死亡率が18.6人で全国4位となっているほか、「令和2年患者調査」（厚生労働省）によると、受療率が人口10万人当たり247人と全国で4番目に高くなっています（「健やか香川21ヘルスプラン（第3次）」から抜粋）。

「うどん県として知られる香川県、食文化に問題ありか…」と環境のせいにして健康管理に無頓着な私は、40代前半で糖尿病を発症しました。今でこそ、特定健診・特定保健指導といった自身の生活習慣を見直す機会や、そのサポート体制が確立されていますが、もっと早くに、このような施策が行われていればと恨めしく思っています。

ライフプランも同じです。仕事やプライベート（遊び？）で多忙な日々を送り、健康づくりや貯蓄といった将来的な人生設計がなおざりになり、「ライフプラン」という言葉を耳にしても、何とかなるだろうと深く考えないまま時間が経過し、定年間際になって慌てふためいているのが現状です。

私のような後悔をする人をなくすために、ライフプランセミナーでは、希望者を募るのではなく、各年代に達するたびに受講を義務付ける仕組みを取り入れるべきではないでしょうか。セミナー参加者のアンケートで9割以上の方が「参加してよかった」という結果のとおり、それまで無関心だった方も何かに気づくでしょうし、何か得るものがあるはず。とは思いつつも、立場上できる範囲に限界がありますので、そういう場を提供し続けることが私どもの使命と考えています。

## 本組合が行うセミナーは…

私ども香川縣市町村職員共済組合では、「50歳未満」と「50歳以上」に分けてライフプランセミナーを開催していますが、いずれも「充実した長い人生を過ごすために」と題した健康づくりと「総論・家庭経済設計」の二部構成としています。また、50歳以上のセミナーでは、任命権者が行うこととされている「年齢60年に達する日以後に適用される任用及び給与に関する措置の内容その他の必要な情報の提供」に鑑み、「定年引上げと共済組合制度」の説明も行っています。

## 講師の先生は…

毎年、（一財）地域社会ライフプラン協会からお迎えする講師の先生は、地方公務員制度や共済組合制度をはじめ、iDeCoやNISAなど資産運用にも精通されており、大変分かりやすいご説明がセミナー参加者からご好評をいただいております。「現職中は共済貯金が一番」と私どもの事業をPRいただけたことも、印象深く記憶に残っています。

## 今後実施したいセミナーは…

本組合は、健康保険の保険者として県下市町の職員（組合員）とそのご家族を対象に、特定健診などの様々な健康保持・増進の事業を実施しているほか、公的年金の実施機関でもあり、年金相談や年金支給事務も行っています。また、年金受給者で組織する親睦団体についても事務局としてお手伝いさせていただいており、組合員等の方々を多方面から生涯にわたってサポートすることが出来る団体です。人生100年時代とも言われる現代において、今後新たに70歳代、80歳代のライフプランセミナーを企画してみたいものです。